

「テレワーク」とは・・・

テレワーク

離れた 働く

資料 7

ICTを活用した、場所や時間にとらわれない
柔軟な働き方



解放

場所



解放

時間

働きたくても働けなかった人が

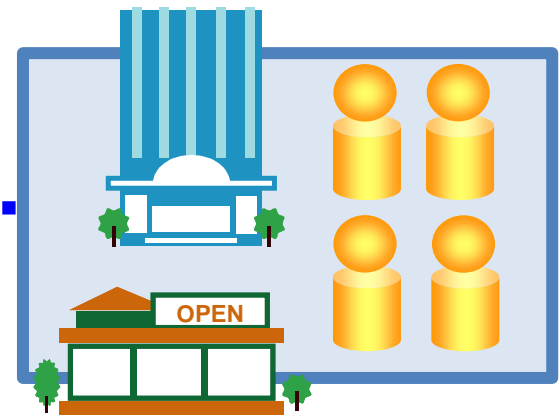
働けるようになる！

週8時間以上

出張先

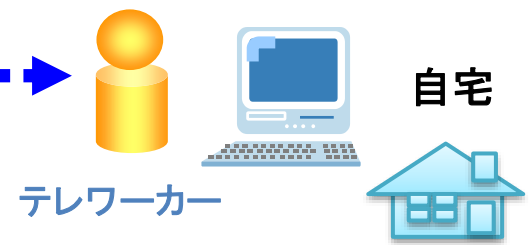


テレワーカー



週8時間以上

自宅



テレワーカー

大企業が率先して「在宅勤務」導入を進めている



女性が活躍する会社ベスト100
日経ウーマン2015年6月号

順位	社名
1位	資生堂
2位	セブン&アイ・ホールディングス
3位	ANA
4位	ジェイティービー
5位	第一生命保険
6位	日本IBM
7位	高島屋
8位	リクルートホールディングス
9位	パナソニックグループ
10位	住友生命保険

ベスト10中6社が
在宅勤務制度
導入済み

在宅勤務制度の
導入を検討する
企業が急増中!

メディアの取材で、在宅勤務制度があるかをよく質問される

採用面接で、就職希望者から「テレワークが可能か」と聞かれた

テレワークは女性のためだけではありません

親の介護が原因で会社を退職



ある大手メーカーは、2023年には「介護が必要となる親を抱える社員が5分の1」を占めると試算

少子化による一人っ子の増加

女性の社会進出

男性の生涯未婚率の増加

高齢者雇用の拡大

働いている人が
親を介護

介護に従事する人の減少
在宅での介護へのシフト

「毎日、朝から晩まで、会社に来れる人しか雇わない」企業はどうなるでしょうか

「地方創生」をテレワークで実現する「ふるさとテレワーク」

人材誘致

消費
子育て
社会参加

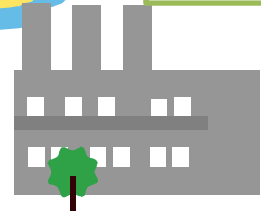
産業創出

観光・食
地元起業



企業誘致

営業支店
工場建設



ふるさとテレワーク

- 地方(ふるさと)で暮らしながら
- 最新のICTを活用して
- 地方の仕事を奪うのではなく
- 都会と同じ「いつもの仕事」を

**「人材」を地方に誘致する
というパラダイムシフト**



人材不足

雇用

「時間あたりの生産性」を高めるための考察

事実

時間に制限のある人ほど「時間あたりの生産性」が高い

切羽詰まる

仮説

限られた時間で仕事をしなくてはいけない状況を作ればいいのか？

全ワーカー

対策

仕事を制限する

残業禁止

ゆう活？

結果

収入(残業代)が減る

⇒ ワーカーのモチベーションの低下？

仕事が終わらない

⇒ 企業の生産性の低下？

さらに...

仮説

「限られた時間で仕事をする事」をワーカーのメリットにしてはどうか？

対策

「時間あたりの生産性」を評価基準とし、給与に反映する

結果

残業をすると評価が下がる

⇒ 時間内に成果を出そうとする

⇒ 「時間内に終わらない仕事」が減る

さらに...

仮説

「終わらない仕事」は、柔軟な働き方で対応してはどうか？

在宅勤務

対策

テレワークを導入し、全体の「労働時間」を増やす

遠隔勤務

結果

子育て・介護でもフルタイム勤務

⇒ 労働時間の創出

遠隔勤務で雇用継続

⇒ 優秀な人材の確保

「時間あたりの生産性」が向上し、時間が限られる人も評価される会社・社会

「カタカナ言葉が多くてよくわからない」と言われた時に・・・

ワークライフバランスは、人の生き方。

ダイバーシティは、社会のあり方。

テレワークは、これらを実現する働き方。

私でさえも、テレワークが「最良の働き方」だとは思っていません。
しかし、これからの日本の社会において、
テレワークという「選択肢」がないと、
企業も、働く人も、とても厳しい状況になっていくでしょう。